

区立板橋第二小学校 令和7年度入学予定児童の保護者の皆様

長寿命化改修事業

を実施します。

長寿命化改修とは、物理的な不具合を直して耐久性を高めるとともに、機能や性能の向上を図る工事のことをいいます。

工事は長期間に及ぶ大規模なもので、建物全体が対象となることから、仮設校舎を運用しつつ進めていく予定です。

ご不便ご迷惑をおかけいたしますが、子どもたちのより良い教育環境を整備するため、何卒ご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

Q.どうして工事が必要なのですか？

現在の板橋第二小学校は建設から50年余りが経過し、躯体（建物の骨組み）の状態は良好であるものの施設全体の老朽化が進んでいます。そこで、バリアフリー化や省エネなどを通じ、将来にわたって安心して使い続けられるよう、工事を実施します。

Q.工事中の学校生活が心配です。

工事中は校庭に設置した仮設校舎で学校運営を行うことになります。体育館を使用できない期間もあるため、体育の授業や各種学校行事について、どのような方法で実施できるか検討しております。今後、進捗状況に応じて随時詳細をお知らせいたします。

Q.学校の建物や設備はどう変わるのですか？

長寿命化改修工事の例として、次のようなものがあります。

- ☐ 外壁補修
- ☐ 教室・特別教室の内装改修
- ☐ 校舎の環境にあわせた LED の設置
- ☐ 給食室のドライ化（乾式化）
- ☐ 断熱材・複層ガラスの設置
- ☐ スロープ・エレベータの設置
- ☐ 教室内ロッカーや黒板の更新など



今年度より建物の現況調査を開始し、
その結果を踏まえて具体的な内容を検討していきます。

〔事業全体のスケジュール〕 ※変更する場合があります。

年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11
既存校舎	調査・設計			工事（外構整備を含む）		
仮設校舎				建設・運用・解体		
令和7年度 入学児童		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生

令和6年度 事業内容

☐ 令和6年度は校舎・体育館の劣化状況を調査し、将来の児童数の変化にも対応できるよう、増築等の検討を行います。

☐ 令和7年度から始まる「設計」に向けての指針となる「基本構想・基本計画」を作成します。

※「基本構想・基本計画」…改修後のあるべき姿や課題を整理し、各教室の構成や概算事業費などを具体化したもの。